

プレスリリース

グラスヒュッテ/ ロンドン、2019 年 7 月 11 日

モリッツ・グロスマンへのオマージュ - 巨匠を称えるヴィンテージ ウォッチ

歴史的なモリッツ・グロスマンのロゴを装備した
パワーリザーブ・ヴィンテージを、ロンドンにて披露

- ロンドンで行われるモリッツ・グロスマン ロードショー 2019 のフィナーレにて、パワーリザーブ・ヴィンテージおよび新商品のプロモーション ビデオを披露
ビデオへのリンク: <https://ja.grossmann-uhren.com/news/>
- ブルーそしてホワイトのパワーリザーブ表示搭載キャリバー 100.2
- ヴィンテージ・ダイヤルに施された 19 世紀の由緒あるオリジナル・グロスマン・ロゴ
- 手作業で仕上げられ繊細さを極めた、直径 0.1 mm の長針と直径 1/20 mm の秒針
- ローズゴールドとホワイトゴールドの 2 種類のバージョン

2010 年、新たに構築されたグラスヒュッテの時計製造メーカー、モリッツ・グロスマン初のモデルが、クリスティーネ・フッターにより披露されました。125 年越しの願いが、やっと叶った瞬間です。伝説の時計職人、先駆者、モリッツ・グロスマンの精神に基づいた、最高品質の機械的時計を、グラスヒュッテで完成させる、という夢です。

これを機会に、デザイナーは、新たなロゴを考案しました。「Moritz Grossmann i/Sa」の表記の下に、2 本の直線が施され、半円が表記を囲んでいる、美しいデザインのロゴです。この線は、グロスマンの典型的な 3 分の 2 プレートの下部エッジのフォルムを、表現したものです。この構造は、モリッツ・グロスマンの懐中時計に使用されており、ムーブメントを密閉するその形から、テンプを確認することができます。

ブランドの新たな幕開けを記念し、創始者であり、先駆者であり、巨匠であるモリッツ・グロスマンへの敬意を表すため、オリジナルの装いに仕上げられた、新たな腕時計が登場しました。パワーリザーブ・ヴィンテージには、モリッツ・グロスマンのクラシックな懐中時計の趣を有する、シルバーのダイヤルが施されています。丁寧に仕上げられたブラックのローマ数字と、タイポグラフィ「M. GROSSMANN」

という 1875 年当時のオリジナルロゴが、グラスヒュッテで今もなお崇拝されている巨匠へのオマージュとして、ダイヤルを飾っています。

針

この新たな時計の針も、19 世紀のモリッツ・グロスマンの懐中時計を見本に、仕上げられています。洋ナシ型の先端が美しい時針が、縫い針の様に極端に細い分針との鮮やかなコントラストを築き上げています。分針の最も細い部分は、0.1 mm しかありません。しかし、更にそれを上回るのが、先端部分が僅か 1/20 mm という秒針の、金細工のような美しさです。グロスマンの針は、手作業で仕上げられており、同様に手作業で、炎の上で直に焼き戻しされています。ブルー/ホワイトのパワーリザーブのカラーと調和させるため、針は、ブルーで仕上げられています。

モリッツ・グロスマンは、時計製造の技術に優れていただけではありません。名声高い時計工房を構築するかたわら、政治的、社会的な貢献も果たし、1878 年にはドイツ時計学校を設立しました。

グロスマンは、その活動、そして慈悲深く暖かい人柄から、多くの人々に愛されていました。このような人物であったからこそ、彼は、時計製造の未来を担う、若い職人達の育成を第一に考えていました。若い職人達は手を出すことができない、高価な高精度の測定機器の部品を安価で注文し、若い職人たちに組立てさせ、改良させました。こうすることで、若い職人達は機器の構造を学ぶことができたのです。また、彼が自費出版した教書「Der freie Ankergang für Uhren（時計のための自由なアンクル脱進機）」は、ロンドンの有名な英国時計学研究所（British Horological Institute）の賞を受賞します。その中で彼は、価格についてこう述べています。

「ある体験を思い出しました。アメリカ合衆国で、私の意志に反して、上記の手記が、あまりにも高い値段で販売されていたのです。しかし、私は、労働者が適切な値段でこれを手に入れることができるようにするため、この本に切手をはり、郵送することにしたのです。上記の販売価格に、郵送料（郵便為替）をつけて。ドイツなら 1 マルク加算して。つまりドイツは 8 マルク、フランスは 9 マルク、英国は 10 マルク (...)M・グロスマン」

パワーリザーブ搭載キャリバー 100.2

パワーリザーブ・ヴィンテージのキャリバー 100.2 には、グロスマン製プッシャー付き巻き上げ機構、グロスマン製調整ネジ付き段差式テンプ受け、個別に取外し可能な巻き上げ機構、質量を改良したグロスマン製テンプが、搭載されています。キャリバー 100.2 は、キャリバー 100.1 を拡張したものです。パワーリザーブを表示するためのギアが、追加装備されています。このディファレンシャルギアは、歴史的なグラスヒュッテ式オブザベーションウォッチのように、ラッチホイールの下部

に装備されています。コハゼは、丸穴車とラチェットホイール間の上部に、設置されています。

キャリバーの中央に設置されたセグメントが、ギアの出力を駆動します。ロゴの下にあるこのセグメントのバーの表示により、あとどのくらいの出力がパワーリザーブに残っているのかを、表示することができるようになりました。つまり、時計が稼働できる時間を教えてくれます。時計のスプリングを完全に巻きあげた場合、このバーは、白で表示されます。パワーリザーブが無くなると共に、ダイヤルとマッチした、スリムで美しい、青いバーが見えてきます。サファイアガラスの裏面により、パワーリザーブ・ヴィンテージの極度に繊細なコンポーネントと、時計メーカー、モリッツ・グロスマンが誇る最も美しいドイツの職人技を、見るができます。

バリエーション

パワーリザーブ・ヴィンテージは、ホワイトゴールドとローズゴールドの2種類のバージョンを、お求めいただけます。

Ref. : MG-002269

ケース : 18Kローズゴールド

ダイヤル : シルバー、ローマンインデックス

針: 手仕上げ焼き戻してブルーに発色させたスチール

Ref. : MG-002270

ケース : 18K ホワイトゴールド

ダイヤル : シルバー、ローマンインデックス

針: 手仕上げ焼き戻してブルーに発色させたスチール

ロンドンでのモリッツ・グロスマン・ロードショー

7月11日、ロンドンのモリッツ・グロスマンロードショー2019にて、新作、パワーリザーブ・ヴィンテージが、披露されました。ロードショーは、モリッツ・グロスマンへのオマージュとして開催されており、2019年のファイナルは、かつて巨匠が書籍を初出版し、英国時計学研究所 (British Horological Institute) のコンテストで1位を獲得したロンドンで、行われました。

このロードショーのため、この数か月間、モリッツ・グロスマンチームは、ドゥバイ、東京、香港を巡り、高級時計の新作を披露してきました。

[パワーリザーブ・ヴィンテージプロモーションビデオ - 詳細にクローズアップ](#)

パワーリザーブ・ヴィンテージの新作ビデオは、[ここ](https://ja.grossmann-uhren.com/news/)をご覧ください。

<https://ja.grossmann-uhren.com/news/>

技術データ：

ムーブメント	自社製キャリバー 100.2、手巻き、5 姿勢調整
部品数	227 個
石数	26石（うち3個はネジ留め式ゴールドシャトンに使用）
脱進機	アンクル脱進機
調速機	質量ネジ4本および調節ネジ2本を装着した耐震軸受式グロス マン製テンプ、ニヴァロック1ヒゲゼンマイ（ブレゲタイプ80 番、グスタフ・ゲルステンベルガー案に基づく）を下側に設置
テンプ	直径：直径14.2mm 振動数: 18,000振動/時
パワーリザーブ	完全巻き上げ状態から約 42 時間
機能	時、分、ストップセコンド機能搭載スモールセコンド、グロス マン製プッシャー付き巻き上げ機構、パワーリザーブ表示
操作	リュウズ1個 18K ゴールド（巻き上げおよび時刻設定用）、プ ッシャー1個 18K ゴールド（ムーブメントのスタート用）
ケースサイズ	直径：41.0 mm、厚さ11.65 mm
ムーブメントサイズ	直径：36.4 mm、厚さ5.4 mm
ケース	スリーピース、ステンレススチール製
ダイヤル	シルバー無垢、シルバー、ローマンインデックス
針	手仕上げ、ブルーに焼き戻されたスチール
風防	片面反射防止加工をしたサファイアクリスタル
ストラップ	18kゴールド製ソリッドピンバックル付きの手縫い アリゲータ ー・ストラップ
特徴	グロスマン製テンプ/針合わせファンクション解除・時計リス タート用プッシャー/2色の表示エレメントによるバー型パワ ーリザーブ表示（ディファレンシャルギア駆動）/小型化した グラスヒュッテ式コハゼ装置（改良型戻し機能付き）/段差式 テンプ受け、グロスマン製精密調整ネジによる緩急調整装置/ 表面処理をしない洋銀の3分の2プレートおよび支柱構造/3 分の2プレート・テンプ受け・ガンギ車受けのハンドエングレ ービング/幅広く水平なグラスヒュッテ・ストライプ模様/3 段のサンバースト模様で装飾された角穴車/平型ネジ留め式の 盛り上がったゴールドシャトン/個別に取り外し可能なクラッ チ式巻き上げ機構/針合わせ用ストップセコンド機能

モリッツ・グロスマン・ウーレン社 - Moritz Grossmann Uhren

1826年にドレスデンで生まれたモリッツ・グロスマンはドイツの偉大な時計職人を代表する先駆者の存在です。その友人であったフェルディナント＝アドルフ・ランゲは1854年、自らの機械式工

房をグラスヒュッテに設立するよう、この才能に溢れる若き時計職人を説得しました。グロスマンは高名な時計工房を構築するかたわら、政治的、社会的な貢献も果たし、1878年にはドイツ時計学校を設立しました。モリッツ・グロスマンは1885年突然この世を去り、彼の工房は解体されました。

熟練の時計職人クリスティーネ・フッターがいにしえのグラスヒュッテの時計ブランド「モリッツ・グロスマン」を発見し、これを保護することにより、モリッツ・グロスマンの伝統的な時計作りに対する情熱が2008年に再び甦りました。フッターは構想を練り上げ、120年以上経った後にグロスマンの遺産を極上の腕時計によって体現するというビジョンに胸を膨らませました。彼女は自らの夢の実現をサポートしてくれるよう、個人の時計愛好家たちを説得しました。そして2008年11月11日、グロスマン・ウーレン社 (Grossmann UHREN GmbH) をグラスヒュッテに設立します。

グロスマンの時計職人は今日もなお、歴史的な品を複製することなく、その伝統を維持しています。革新力、最高の手工業技能、伝統をもって、しかしながら最新の製造手法と最高級の素材を利用しながら、その時計を通して、「最も美しいドイツの職人技」を創造します。

画像および動画 ダウンロード：

<https://my.hidrive.com/share/gu8jaf2pjw>

グロスマン・ウーレン GmbH 詳細情報 ダウンロード：

<https://my.hidrive.com/share/griputry38>

グロスマン・ウーレン GmbH：

<https://ja.grossmann-uhren.com/>

<https://ja.grossmann-uhren.com/news/>

詳細ならびに高解像度の画像資料に関しては、以下までご連絡ください。

モリッツ・グロスマン・ジャパン 連絡先：

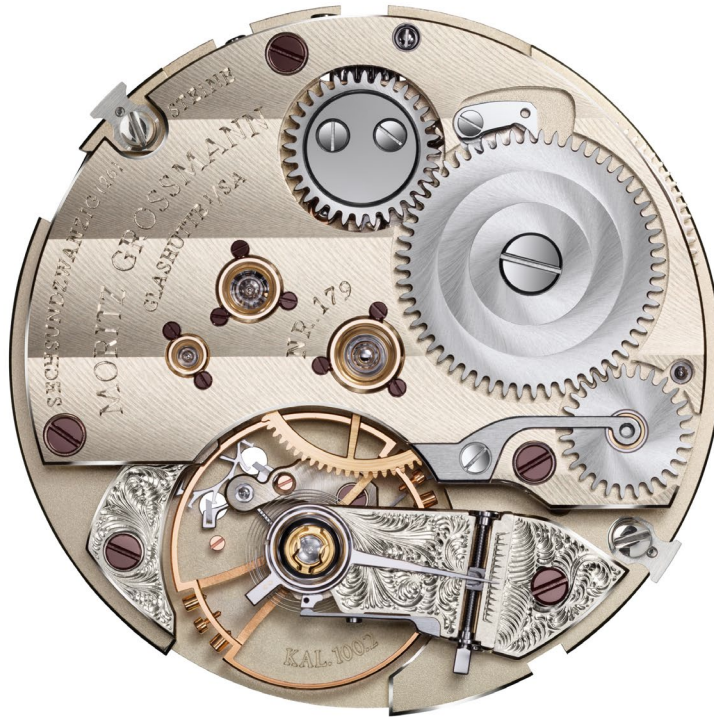
モリッツ・グロスマン・ジャパン株式会社
担当者：瓜生 まり子（マーケティング+PR）
東京都文京区小石川 4-15-9
Tel： 03-5615 - 8185
Fax： 03-5615 - 8186
mariko.uriu@grossmann-uhren.com



パワーリザーブ・ヴィンテージ、ローズゴールド



パワーリザーブ・ヴィンテージ、ホワイトゴールド



キャリバー 100.2